

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
(兵庫県民会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長
https://hyogo-arts.or.jp



SNSやっています!

Facebook



X (旧 Twitter)



YouTube



Instagram



2023年
10月号
436号



題字：井茂圭洞 (書家・文化功労者)

ふれあい文化の祭典 県内各地で開催中!

作品募集中 締切間近!

10月、11月のイベントの中から一部をご紹介します。

第35回全国手工芸コンクール in ひょうご 10月10日(火)締切



第29回兵庫ふれあい美術展 10月31日(火)締切



ひょうご吟剣詩舞道祭

各種大会の優秀吟者や剣詩舞の発表、兵庫県下の各流派代表者による合吟コンクールが行われます。

【日時】10月15日(日)10時~17時
【場所】西宮市民会館アミティ・ベイコムホール【入場料】無料
【問い合わせ】兵庫県吟詠連盟FAX078・361・3336
(事務所に常駐していないためFAXでご連絡ください)



ひょうご洋舞フェスティバル

兵庫県洋舞家協会70周年を記念し、「白鳥の湖〈全幕〉」を上演します。

【日時】11月5日(日)18時~20時
【場所】県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
【入場料】1・2階席〈指定席〉前売8000円(当日8500円)、3・4階席〈自由席〉前売5000円(当日5500円)
【問い合わせ】兵庫県洋舞家協会☎078・362・7086



ひょうご大茶会

登録有形文化財である優雅な県公館で、茶会(抹茶・煎茶)を堪能ください。高校生以下および同伴者は無料でお楽しみいただける「ふれあい茶席」(先着60人)もあります。

【日時】10月29日(日)10時~15時30分【場所】兵庫県公館
【茶券】2500円【問い合わせ】ひょうご大茶会実行委員会(兵庫県芸術文化課内)☎078・362・3171



兵庫短歌祭

入賞作品表彰と講評、現代歌合わせ「佳い歌をめぐって そのII」を行います。

【日時】11月11日(土)13時~16時30分
【場所】神戸市中央区文化センター1F多目的ホール
【入場料】無料
【問い合わせ】兵庫県歌人クラブ
☎0790・85・0021/090・3650・2998



展覧会特別鑑賞講座 受講生募集

生誕120年 安井仲治 一僕の大切な写真

展覧会の担当学芸員による解説と鑑賞をセットにした「展覧会特別鑑賞講座」。担当学芸員から鑑賞のポイントが聞ける、と人気の講座です。兵庫県立美術館で12月から始まる「生誕120年 安井仲治 一僕の大切な写真」の展覧会特別鑑賞講座の受講生を募集します。

【講師】小林公(兵庫県立美術館学芸員)
【日時】12月16日(土)10時30分~12時
【場所】兵庫県立美術館レクチャールーム
【受講料】一般1600円(1400円)、70歳以上800円(700円)
()内は当協会友の会会員料金



《少女と犬》1930年代後半ゼラチンシルバープリント 個人蔵(兵庫県立美術館寄託)

※事前解説終了後に展覧会を鑑賞します。
(講座前に鑑賞されたい場合は、別途入場券が必要となります)
【定員】40人
【申し込み・問い合わせ】当協会文化振興部☎078・321・2002



【本展の見どころ】日本の写真史の中でも傑出した存在として知られる安井仲治(1903-1942)。戦災を免れたヴィンテージプリントとネガの調査を元に、安井の活動のさらなる解明を試みます。

【会期】12月16日(土)~2024年2月12日(月・祝) 【開館時間】10時~18時(入場は閉館30分前まで) 【観覧料】一般1600円(1400円)、大学生1000円(800円)、70歳以上800円(700円)、高校生以下無料※()内は当協会友の会会員料金

【休館日】月曜日 ※ただし1月8日(月・祝)は開館、翌9日(火)は休館、2月12日(月・祝)は開館。年末年始の休館は12月29日(金)~1月2日(火)。

地域文化を考えるシンポジウム
11月16日、赤穂で

今年のテーマは「伝統文化の継承と地域文化」。赤穂濱鋤き唄、龍野の流し雛、播州段文音頭などの伝統文化や、三日月アンサンブルのコーラスなど、新旧文化を楽しみつつ、文化振興の課題や活性化を考えます。

お席に限りがございますので、まずはお問合せください。
【日時】11月16日(木)12時30分~15時30分
【場所】赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール
【参加費】3000円(資料代)
【問い合わせ】西播磨文化会館☎0791・75・3663

新進芸術家に発表の場を! 兵庫県民会館けんみんホールで開催! 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ

11月 Vol.62 大倉 卓也
ピアノ・リサイタル



【日時】令和5年11月10日(金) 19時 大倉 卓也
【出演】ピアノ/大倉 卓也
京都市立芸術大学を経て、同大学院を首席で修了後、フランスのパリ地方音楽院にて研鑽を積む。また、大学院修了時には大学院市長賞を受賞した。現在は関西を中心に活動しており、2022年には酒井健治氏のピアノのためのエチュードを世界初演。

【予定曲目】モーツァルト/ピアノソナタ 二長調 K.311、ショパン/バラード 第3番 op.47、リスト/巡礼の年 第2年補遺「ヴェネチアとナポリ」S.162 ほか

【入場料】一般3000円、22歳以下1500円
小学生の方よりご購入いただけます(全席自由)
*いけばな/富士聡子(華精流)

読者プレゼント

公演チケットを3組6人に会員特典 公演に友の会会員をご招待。5組10人に。※いずれも応募多数の場合は抽選。応募方法は本紙2面。10月13日(金)必着

新進・若手アーティスト等の
育成支援事業

兵庫県工芸美術 作家協会選抜展

ひょうごアーティストサロンでは、次代を担う新進若手アーティストなどに発表の機会を提供しています。今回は兵庫県工芸美術作家協会所属作家8人の作品20点を展示します。

【会期】 10月18日(水)～22日(日)
10時～17時
(最終日は16時まで)

【場所】 兵庫県民アートギャラリー特別
展示室 (兵庫県民会館1階)

【出品作家】
上前功夫(ガラス)、江藤雄造(漆芸)、勝井道子(染織)、彼谷利彬(漆芸)、境朋子(染織)、福本康博(陶芸)、藤原義明(陶芸)、三谷恵子(染織)

【入場料】 無料
【問い合わせ】
ひょうごアーティストサロン
☎078・321・2005



アートでめぐるひょうごの五国

アートde元気ネットワークひょうご



兵庫の五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)で開催される芸術祭のうち、今回は摂津、播磨、但馬、淡路で開催の4つを紹介します。※淡路で開催のイベントは4面でご紹介しています。

あさご芸術の森アートフェスティバル2023 `秋、

今年も恒例のアートフェスティバル `秋、。ハロウィンをテーマにキャンドルやライトアップで場内を飾る「ハロウィンな夜」、手作り作品の販売やワークショップで賑わう「アートマーケット」をメインに開催します。

■風と光のページェント2023～ハロウィンな夜～

【日時】 10月21日(土)・22日(日)18時～21時

■あさご芸術の森アートマーケット2023

【日時】 11月19日(日)10時～15時

【場所】 あさご芸術の森美術館周辺 (朝来市)

【問い合わせ】 あさご芸術の森美術館 ☎079・670・4111



下町芸術祭

5回目の開催にして初の公募形式。地域内の現役稼働施設約20ヶ所を「アートを共有されるべき」COMMONSとして、地域住民や地元業者とともにアーティストに解放。国内外で活躍する表現者に、「COMMONS HACK」をコンセプトに、街のCOMMONSをHACK(うまくやり抜く、耕す、切り開く、侵入する、の意味)した作品を募集しました。期間中、新長田の様々な場所を舞台に、作品の展示・公演を行います。

【日程】 11月3日(金・祝)～19日(日)

【場所】 新長田一帯 (神戸市長田区)

【問い合わせ】 新長田アート commons 実行委員会

<http://shitamachi-artfes.studio.site/contact>



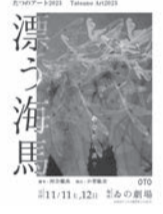
たつのアート2023

歴史と文化の町たつの市で、今年も造形芸術、映像、演劇、音楽と多様なジャンルによる総合芸術祭が開催されます。元醤油蔵のみの劇場にて、たつの市在住の河合穂高脚本による OTO 演劇公演「漂う海馬」、ポーランド、ウクライナ作家による「川」展、ポーランド最古の国立美術学校であるヤン・マテイコ美術アカデミーのアニメーションフィルム科のアニメーション映像選上映などが開催されます。

【日程】 11月10日(金)～19日(日)

【場所】 アポロランプ、アポロスタジオ、ガレリアアーツ&ティー、みの劇場 (たつの市)

【問い合わせ】 たつのアート実行委員会事務局 ☎0791・63・3555



催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

兵庫県民アートギャラリー ☎078-321-2131 ※入場無料



- 人と海のフォトコンテスト 第34回マリナーズ・アイ展 (2階) ~10月1日(日) 写真約120点
- 2023 兵庫県文化賞受賞者小作品展 (1階) ~10月1日(日) 日本画・洋画・書・工芸等の小作品約30点
- 第38回 美術クラブ「創」展 (1階) 絵画約30点 10月4日(水)～10月8日(日)
- 2023 第57回名筆研究会展 (2階) 書約50点 10月4日(水)～10月8日(日)
- 第49回 兵庫県総合水彩画会展 (2階) 洋画約45点 10月4日(水)～10月9日(月)
- 第31回 青砥会日画展 (2階) 日本画約30点 10月5日(木)～10月9日(月)
- 第26回 神戸 YPC 写真展 (2階) 写真約50点 10月11日(水)～10月16日(月)
- 李俊晔個展～デジタルトランスフォーメーション時代のデザイン～ (2階) デザイン等約15点 10月12日(木)～10月14日(土)
- 第27回「国際現代」芸術展 (2階) 10月13日(金)～10月15日(日) 水墨画・墨彩画・書等約100点
- 末生流永源会いけばな展 (1階) いけばな約20瓶 10月14日(土)～10月15日(日)
- 第66回 新協展写真部巡回展・神戸写真部作品展・併催公募作品展 (2階) 写真約100点 10月16日(月)～10月22日(日)
- 兵庫県工芸美術作家協会選抜展 (1階) 工芸20点 10月18日(水)～10月22日(日)
- 2023 カメラで散歩写真教室作品展 (2階) 写真約70点 10月19日(木)～10月22日(日)
- 第2回 四土会写真展 (2階) 写真約30点 10月21日(土)～10月29日(日)
- 第39回 神戸芸術学林陶芸教室作品展 (1階) 10月25日(水)～10月29日(日) 陶芸約200点
- 第59回 兵庫県職員作品展 (2階) 10月25日(水)～10月29日(日) 絵画・書・工芸・彫刻・写真等約100点

ひょうごアーティストサロン ☎078-321-2005 ※入場無料



- 兵庫県民会館ロビーコンサート (1階ロビー) 10月14日(土)14:00～14:30
- 吉見真帆ソプラノコンサート 出演：吉見真帆(ソプラノ)、片山梨子(ピアノ)
- 「兵庫の工芸壁面を飾る」 10月2日(月)～11月30日(木) 兵庫県工芸美術作家協会4人による作品8点 ※日・水・第2月はお休み

芦屋市谷崎潤一郎記念館 ☎0797-23-5852



- 2023年秋の特別展「モノたちの物語り～展示資料を楽しむ～」 9月16日(土)～12月10日(日) ※11月11日(土)・12日(日)は入場無料 「谷崎を主役とした展示の一部」としての展示資料ではなく、展示資料「自体」を主役とする展覧会。今回は展示室での展覧会に加え、庭園+ロビーに現代アーティスト岩野勝人、日下部一司の「谷崎礼讃」作品を展示します。 ※入場料500円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月13日(金)必着

原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※入場無料



- 第36回日本の自然を描く展 西日本展 (本館2階) ~10月1日(日) 油彩・日本画・水墨画・水彩画・アクリル約500点 入場料500円
- 染織工房47周年「夢織りびとの世界」展 (東館1・2階) ~10月1日(日) 工芸約120点
- 第15回遊藝展 (本館1階) 書約400点 ~10月1日(日)
- 僕にとっては暇つぶし ただただ好きで、こころの思うまま 感じるまま 作品展 (障害者アートギャラリー) 書・水彩・工芸約40点 10月1日(日)～12月24日(日)
- 第28回二元会兵庫支部展 (本館1・2階) 10月4日(水)～10月9日(月・祝) 油彩・水彩・アクリル・日本画約250点
- 若谷 薫 作品展 (東館1階) 油彩・アクリル約60点 10月4日(水)～10月9日(月・祝)
- 藤室雅司(故)・節子 夫婦展 (東館2階) 10月4日(水)～10月9日(月・祝) 油彩・水彩約60点
- 第76回飛雲展 (本館1・2階) 書約400点 10月13日(金)～10月15日(日)
- 「空」Kū (東館1・2階) 書約100点 10月13日(金)～10月15日(日)
- niche 展 (東館1・2階) 10月18日(水)～10月22日(日) 油彩・水彩・アクリル・児童画約190点
- 第36回全国シルバー書道展 (兵庫展) (本館2階) 10月21日(土)～10月22日(日) 書約550点
- 第20回ファミリー書展 (本館1階) 書約3700点 10月21日(土)～10月22日(日)
- 京都芸術大学通信教育部卒業生第16回マーブル展 (東館1・2階) 油彩・水彩・アクリル・日本画・工芸約50点 10月24日(火)～10月29日(日)
- 神戸芸術文化会議50周年記念事業 こうべ芸文芸術祭(第48回) (本館1・2階) 総合約130点 10月25日(水)～10月29日(日)
- 中村進一(写真)・烏頭尾寧朗(絵画)二人展 (東館1階) 10月31日(火)～11月5日(日) 油彩・写真約40点

横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607



- 特別展「Yokoo in Wonderland -横尾忠則の不思議の国」 ~12月24日(日) 横尾作品のなかの「不思議」に着目し、ルイス・キャロル作の「不思議の国のアリス」になぞらえて紹介する展示会です。「不思議の国」「鏡の国」「夢の国」の3章からなる構成で、横尾氏の夢をもとに描いた「夢枕」シリーズなどを展示して異世界に誘います。 ※入場料700円ほか【友の会割引あり】

プレゼントの ご応募について



①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキか FAX で送付。

*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3

(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940



https://piccolo-theater.jp

兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証) アクセス▶■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分 ■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分

兵庫県立ピッコロ劇団 おでかけステージ
タラレバ幽霊とタカラの山

ピッコロ劇団が、ホームグラウンドのピッコロシアターを飛び出して、地元・尼崎へ“おでかけ”して、楽しいステージをお届け!

尼崎在住の児童文学作家・谷口雅美と、ピッコロ劇団員の原竹志のタッグで、昨年、県内小学校で上演して好評を博した舞台を一般公開します。

【ものがたり】小学6年生のショウは、夏祭りの夜にクラスメイトたちと夜の学校で肝だめしをすることになる。そこで出会った不思議な女の子・京子。京子は、なんと、50年前からタイムスリップしてきたのだった…。

【台本】谷口雅美・原竹志(ピッコロ劇団)

【演出】原竹志(ピッコロ劇団)

【日時】①11月4日(土)11時 ②11月11日(土)14時

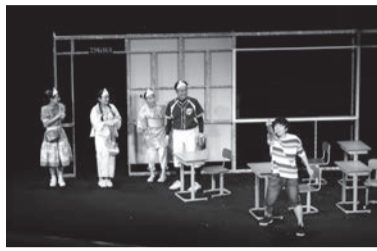
【場所】①尼崎市立小田南生涯学習プラザ ホール

②尼崎市立立花南生涯学習プラザ ホール

【入場料】500円(3歳未満無料)

【予約開始】10月8日(日)

【出演】谷口遼、吉江麻樹、岡田力、杏華、吉村祐樹、有川理沙、鈴木あぐり(以上、ピッコロ劇団員)、木下出

ピッコロシアター鑑賞劇場 青年団プロデュース公演
尼崎市第7回『近松賞』受賞作品
「馬留徳三郎の一日」

「近松賞」は、尼崎市ゆかりの近松門左衛門の功績を顕彰し、優れた劇作家の発掘・育成を目的とした戯曲賞です。第7回受賞作品『馬留徳三郎の一日』を、演劇界の第一線で活躍する劇作家・演出家の平田オリザの演出で再演します。

【作】高山さなえ(高山植物園)

【演出】平田オリザ

【ものがたり】山深い田舎の集落。馬留徳三郎と妻のミネは二人でここに住んでいた。ある夏の日、徳三郎の息子、雅文から久しぶりに電話がかかって来た。仕事でトラブルがあり、部下が間もなく馬留家に訪れると言う—。

【日時】12月8日(金)18時30分/12月9日(土)14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】一般3000円 25歳以下2000円

高校生以下1000円※未就学児入場不可

【発売日】10月7日(土)



平田オリザ



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時~17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



https://www.gcenter-hyogo.jp

アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)

■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

世界音楽図鑑/ステップコンサート

小松亮太 昭和タンゴ・プレイバック~碧空



小松亮太

バンドネオンの第一人者・小松亮太が贈るアルゼンチン・タンゴ、そしてアルゼンチンからヨーロッパへ渡り広がったコンチネンタル・タンゴ。信頼する仲間とともに昭和の時代から愛されてきたタンゴの名曲をお届けします。世界チャンピオンによる魅惑のダンスも交えた華麗なステージをお楽しみください!

【出演】バンドネオン/小松亮太ほか11名編成のタンゴバンド、ダンス/Nana & Axel

【曲目】ラ・クンパルシータ、碧空、エル・チョコロ、ラスト・タンゴ・イン・パリ、リベルタンゴ ほか

【日時】10月22日(日)14時 【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席4000円、B席3000円、C席2000円、D席1000円

マイ・ボーイ・ジャック

My Boy Jack

息子は必ず帰ってくる。家族はそう信じていた。ノーベル賞作家のラドヤード・キプリングが第一次世界大戦中に書いた詩に影響を受け、俳優としても活躍するデイヴィッド・ヘイグが創作した物語。いまこそ世界に届けたい物語を、戯曲の面白さを最大限に引き出す上村聡史の演出でお届けします。

【作】デイヴィッド・ヘイグ 【翻訳】小田島則子 【演出】上村聡史

【出演】眞島秀和、倉科カナ、前田旺志郎、夏子、佐川和正、土屋佑壱、小林大介

【日時】11月3日(金・祝)、4日(土)、5日(日)各日13時※3日・4日終演後アフタートーク開催

【場所】阪急 中ホール(芸術文化センター) 【入場料】全席指定9000円



内田光子(ピアノ・指揮) with マーラー・チェンバー・オーケストラ

英国での勲章も授けられるなど、アーティストとして世界的に尊敬を集める内田光子。一生に一度は必ず聴くべき、日本が誇るピアニストです。特にモーツァルトの演奏において名高く、今回は2曲の協奏曲を弾き振り。若き精鋭集団マーラー・チェンバー・オーケストラとの演奏は深く胸に刻まれる、心の財産となることでしょう。

【曲目】モーツァルト: ピアノ協奏曲 第17番、第22番 ヴィトマン: コラール四重奏曲(室内オーケストラのための)

【日時】11月7日(火)19時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席18000円、B席15000円

C席12000円、D席9000円、E席5000円



内田光子



©Geoffroy Schied

チケットを
購入されるお客様へ※未就学児童はご入場いただけません。
※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。
※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

現代書の総合展

第76回 飛雲展

●作品解説会 14日(土)13:00~ 於:本館1階展示室

と き 令和5年10月13日(金)~15日(日)

10時~17時(最終日は16時まで)

と ころ 原田の森ギャラリー(兵庫県立美術館 王子分館)

(神戸市灘区原田通3-8-30) ☎(078)801-1591

主 催 飛雲会

後 援 兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会

(公財)兵庫県芸術文化協会・(公財)神戸市民文化振興財団

神戸新聞社・奎星会・兵庫県書作家協会

飛雲会 〒651-0095神戸市中央区旭通5-3-12 竹下ビル3F ☎(078)261-2575

歴史、アート、花… 秋も淡路へ

IKUHART PROJECT 2023



アートでめぐるひょうごの五国で淡路で開催される「IKUHART PROJECT 2023 地域連携事業 土のミュージアム SHIDO『川野昌通展』」をご紹介します。

育波は淡路島の北西に位置し、漁業を中心とした町です。鉄とも関係が深く、近くに、弥生時代に鉄の加工をしていたムラの跡、五斗長垣内遺跡が残っています。育波、アート、アートより「IKUHART」とし、アートを手掛かりに、淡路島の魅力を発信する企画を展開。今回ご紹介の展覧会、作家の川野昌通氏は、鉄を素材とする作品を制作しています。

【日程】 11月3日(金・祝)～12月3日(日)
平日13時～17時
土日祝10時～18時 ※(火)・(水)休館
【場所】 土のミュージアム SHIDO (淡路市)



《スペシャルイベント》入場無料

【日時】 11月5日(日)17:30～20:30
17:30～ / 川野昌通作品トーク
18:30～ / JUN TAMBA アート講座 in SHIDO 「目から鱗の現代彫刻論」
19:30～ / 柳田絢奈ソロリサイタル 「クラリネットのタベ」

【問い合わせ】 一般社団法人 IKUHART 企画 ☎090-3651-7776

淡路花祭2023秋 開催中

淡路島では全島で淡路花祭2023秋が開催されています。一面のコスモスを始め、カーニバルや青空市など様々なイベントが、島内各所で開催されています。



【日程】 ～11月5日(日) 【場所】 淡路島全島
【問い合わせ】 淡路花祭推進協議会(事務局:(一財)淡路島くにもうみ協会)
☎0799-24-2001



丹波古陶館

江戸後期の木造建物が特徴 丹波焼の歴史と魅力を展示

丹波篠山市にある丹波古陶館は昭和44(1969)年、丹波焼の歴史と魅力を紹介する私立博物館として開設されました。大正時代に美術商「尚古堂」を開店した初代館長の中西幸一氏と2代目の通氏は丹波焼の普及と蒐集に努め、そのコレクションが収蔵・展示の中心となっています。

江戸後期に米蔵、生糸蔵として建てられた築170年の木造建物です。江戸時代の姿を伝える「河原町妻入商家群」の一角にあり、白い土壁と瓦屋根が特徴的です。明治以降は銀行本店の蔵として使われてきたそうです。

中庭をはさんだ3棟が展示室で、常時120～130点を展示しています。丹波焼は「日本六古窯」の一つで平安時代末期から800年の歴史を刻んできました。西館、北館、東館と時代に沿って作品を見て回れます。

中世の作品が並び西館では、「三筋壺」と呼ばれる様式や、釉薬が自然に流れて緑色の模様となった「自然釉」が特徴です。北館では江戸時代の「赤土部」が見られます。登窯の導入で



古丹波 大壺(室町初期)

赤土部 船徳利(江戸初期)

新しい技法を得た陶工が生み出した燃えるような赤い輝きが特徴です。東館では、さらに陶土や釉薬の改善によって白色や草花模様が特徴の江戸末期の作品が見られます。

3代目館長の中西薫さん(64)は丹波焼の魅力について「1300度の高温で焼くことで『窯変』が起き、釉薬が輝きを放ち、つややかさが増す美しさでしょうか」と話します。

年に4回ほど展示替えを行います。繰り返し来館する陶芸ファンも多いことから、代表的な作品は常に展示しています。「日本六古窯」を巡り、焼き物の違いを見比べる愛好家や外国人客も珍しくないそうです。

古陶館の並びに姉妹施設の篠山能楽資料館があります。中西家が昭和51(1976)年に創設、館長は中西薫さんが兼ねています。

篠山の城下町では古くから能楽の伝統文化が育まれ、春日神社の能楽殿では毎年能会が催されてきました。資料館では能面や衣装、楽器、絵などを展示しています。



丹波古陶館の外観



篠山能楽資料館の館内

お出かけちょっとメモ

▶丹波古陶館＝丹波篠山市河原町185。開館時間は10時～16時半。月曜休館(祝日・振替休日は翌日)。夏期休館(8月20～31日)。年末・年始休館(12月25日～1月3日)。入館料は大人700円(600円)、大・高校生400円、中・小学生200円。JR篠山口駅下車、神姫バスで本篠山バス停下車、徒歩3分。☎079-552-2524
▶篠山能楽資料館＝丹波篠山市河原町175。開館時間は10時～16時半。月曜休館(祝日・振替休日は翌日)。夏期休館(8月1～31日)。冬期休館(12月25日～2月28日)。☎079-552-3513
※単館入館料、交通アクセスは両館同じ。両館とも入館できる共通券は大人1000円(900円)。()内は当協会友の会会員料金。

読者プレゼント

丹波古陶館と篠山能楽資料館の共通券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。10月13日(金)必着。

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs



花咲く秋のいりどりフェア ～ようこそ秋、フラワーセンターの秋～

- 秋植え球根特売会 9/23～10/22
- ダリア展 10/1～11/5
- ストレプトカーパス展 10/7～11/23
- 第35回兵庫県どんぐりごま大会 10/7 (10:00～14:00)
- 第46回 兵庫県連合菊花展覧会
10/15～11/19 (菊花展開催期間中は無休)
- 寒蘭展 11/10～11/12
- ポインセチアとスミシアンサ展 11/25～12/24
- ハボタンフェア 11/25～12/24

TEL 0790-47-2212 FAX 0790-47-2213
(兵庫県立フラワーセンター内)

10/1(日)～11/19(日)



公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会
兵庫県立 **フラワーセンター**
〒679-0187 兵庫県加西市豊倉町飯森 1282-1
TEL (0790) 47-1182 FAX (0790) 47-1561
兵庫フラワーセンター 検索